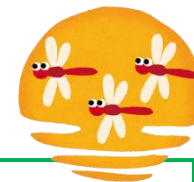


令和6年11月13日発行

徳之島高校図書室

第7号

11月 図書だより



徳高図書室では、10月21日から11月8日まで、秋の読書週間特別貸出を行いました。みなさんどのくらい本を読めましたか？期間中に5冊以上借りて、しおりを受け取った人もいましたね。図書委員おすすめの「本の福袋」も楽しんでいただけましたか？

これから涼しくなって、本を読むにはいい季節になります。引き続き、読書に親しみましょう。



図書委員のオススメ本



『あつかったらぬげばいい』 ヨシタケシンスケ

「ひとのふこうをねがっちゃったら、なみうちぎわにかけばいい」という言葉が印象に残りました。人の不幸を願ってしまったことを否定せず、しかも、他人を傷つけずに自分の気持ちも発散するという方法にハッとさせられました。

シンプルなテーマながらも、自由な発想の大切さが書かれていて、大人になってからこそ読んでほしい一冊です。ぜひ図書室に行って読んでみてください。

(1年図書委員)



集団読書会 『味見読書』

10月の統一LHRで、1・2年生は集団読書会が行われました。今年は味見読書でした。「味見読書」とは、色々な本を「ちょっとだけ」読んでみることです。普段読まないような本との出会いがあり、面白い体験ができたことと思います。皆さんの感想を少しご紹介します。

- ★「3分だけ試し読みだと気を楽しみながら読めるのでいいと思った。」
- ★「あまり本を読むのは好きではないけど、こんな風にちょこっと読むと、色々な本が味見できていいなと思いました。」
- ★「私はエッセイが好きなことがわかりました。」
- ★「いつもなら絶対に手に取らないようなものも、読んでみて続きを読みたいと思うものもあった。」
- ★「3分は短いと思ったけど、意外と多くの内容を頭に入れることができて面白かった。3分だから集中できたし、朝のSHRで試したい。」
- ★「一気に読むよりも、少しずつ読むことで興味がわいてきた。」

…などなど

みなさん、それぞれ楽しめたようですね。読書のいいところは、自分の好きなものを自分で選べるということです。少し読んでみて、「なんか違うな」とか「自分に合わないな」と思ったら次の本を開いてみればいいのです。これを機に、色々なジャンルの本にチャレンジしてみてくださいね。

今回味見読書で読んだ本は図書室で借りることができますので、ぜひどうぞ。

新着図書案内

- * 『明智恭介の奔走』 今村昌弘 (913)
- * 『死んだ山田と教室』 金子玲介 (913)
- * 『月ぬ走いや、馬ぬ走い』 豊永浩平 (913)
- * 『山頭火入門』 町田康 (911)
- * 『愛玩動物看護師になるには』 大岳美帆 (649)
- * 『人生の扉をひらく鍵』 中山祐次郎 (914)
- * 『奪還』 城内康伸 (210)
- * 『きみの色』 佐野晶 (913)
- * 『百年の孤独』 G・ガルシア=マルケス (963)
- * 『このプリン、いま食べるか？ガマンするか？』 柿内尚文 (159)
- * 『スマホがなくなる日』 渡邊信彦 (007)
- * 『トイレからはじめる防災ハンドブック』 加藤篤 (518)
- * 『幸せへのセンサー』 吉本ばなな (914)
- * 『ことばが変われば社会が変わる』 中村桃子 (801)
- * 『最強に面白い睡眠』 柳沢正史 (491)
- * 『こちら、沖縄美ら海水族館動物健康管理室。』 岩貞るみこ (480)
- * 『言語学バーリ・トゥード・Round2』 川添愛 (801)
- * 『遺伝子からたどる日本の歴史と起源』 杉田繁夫 (801)
- * 『10年後のハローワーク』 川村秀憲 (366)
- * 『外来動物対策のゆくえ』 羽澄俊裕 (462)
- * 『存在の耐えられない愛おしさ』 伊藤亜和 (914)

★まだまだあるよ！さあ、図書室へGO！

★新着本より紹介

『愛玩動物看護師になるには』 大岳美帆

動物に関する職業に就きたい人必見ですよ！2022年に施行された「愛玩動物看護師法」により誕生した国家資格、愛玩動物看護師になるためにはどうすればよいかが分かります。進学先はどんな所があるのか、実際にどのように働いているかなど、参考になることが満載です。

進路で悩んだら…進路コーナーを活用しよう！

『なるにはBOOK』シリーズでは、愛玩動物看護師以外にも、たくさんの分野、専門の仕事について、その魅力や現実、なり方までを幅広く紹介しています。こんな仕事もあるんだと新しい発見があるかもしれませんよ。ぜひ一度見てみることをオススメします。

ちなみに、11月23日は勤労感謝の日ですね。図書室には、色々な仕事の本がありますので、自分の将来就きたい仕事について調べてみてはいかがでしょうか。

『10年後のハローワーク』 川村秀憲

AIの登場により、今から5年後、10年後はなくなる職業や、逆に伸びる職業も出てくるでしょう。

少子高齢化が進み、将来の働き手不足が深刻化されている現代においては、「自分にしかできない仕事」の価値が高くなり、自分で「意思決定」することの大事さを考えさせられます。

将来や進路に悩むあなたに読んでほしい一冊です。